



改造車で走ってます

おぎしま ひろおみ
荻島 弘臣さん



荻島さんは、ホームページ制作などの仕事をしています。パソコンの前に座っていることが多かったのですが、昨年12月に車の免許を取得。それからは外に出かける仕事も多くなり、より活動的になりました。「私は、18歳の時の事故で頸椎損傷のため首から下の感覚が麻痺しました。でも私のような重度の身体障害があっても、こうして車を運転できるということで、他の人にも希望をもってもらえたらうれしいです。」3月には、AKB48のイベントに、さいたまスーパーアリーナまで行きました。「約2時間の運転は疲れましたが、自分のペースで動ける自由は、なによりです。」



身体障害者標識 (通称クローバーマーク)
身体の不自由な運転者が運転する車に表示するマークです。上記の表示対象者が標識(マーク)を表示して普通自動車を運転しているときは、危険防止のためやむを得ない場合を除き、進行している当該車両へ「側方に幅寄せ」や「割込み」をした場合には、道路交通法違反になります。



ドアを開けるとスロープが降りてきます



ハンドルの前に乗り込み、シートベルト装着



車いすをロックします



背もたれを前に出し、右手をハンドルに固定左手のレバーはアクセルとブレーキです



改造はランプパンさんにお世話になりました

福祉車両販売・改造アドバイザー
ランプ・パン
東京都八王子市元八王子町2-1153-3
TEL・FAX 042-668-9166
http://www.geocities.jp/ramp_van

連載エッセイ Vol.1

しごとの中でみつけた ちいさなしあわせ

ピアわかくさ職員 川出 勇 (かわでいさむ)

身体・知的・精神に限らず施設というものは、一つの集団であると深く考えさせられることが多くあります。

一般的に集団ということばの意味について調べてみると、二人以上である程度組織化された集まりであり、厳密には共通の目的を持ち、目的と目標を共有しながら、目的と目標達成のためお互いに助け合おうと努力し、役割の分担があり、ふるまい方に一定の基準が存在し、集団自己同一視するものとされています。しかし、現実には、個人が持ち合わせている目的と目標、またはものごとのとらえ方をお互いに共有しあうということはとても難しいものです。なぜなら、一人ひとり違った人生を送ってきたことによって生まれる多くの物語とその時間の中で積み重ねてきた数々の思いによって形作られる価値観や人生観が多種多様に存在していることによって、目的と目標、またはものごとのとらえ方の背景には実は深い意味を含んでいると思うからです。

しかし、今まで異なる人生を歩みながら、多種多様な感覚と世界観を身につけてきた人たちが集まる集団において、日常のふとした場面で、お互いが同じことを目にした時に、同じことを考え、同じ感覚を共有するといった場面が時折、存在していることも確かです。

私はこれまで多種多様な人生を送ってきた人たちがさまざまな理由から集い、同じ時間と空間を共有している日々の職場のなかで、一対一やグループなどさまざまな形で、その一瞬、同じ価値観や世界観、ものごとの考え方やとらえ方、または感情や感覚を時間と共に分ち合えたその時に、人と人のつながり、心がほっと揺らぐ感触、気持ちが上向きに変わる瞬間を感じ、小さなしあわせを感じる自分がいます。

集団で活動をする上で、同じ方向を見据えながら行動できることはとても居心地がよく、何よりも充実感が味わえることは、多くの方がこれまでの経験から感じ取っているものだと思います。

確かにそれらを常に感じながら、集団で活動しつづけることは、たやすいことではなく、逆に不可能なのかもしれません。

だからこそ、その一瞬、一瞬に喜びとしあわせを感じ取るのではないのでしょうか。また、だからこそ、集団というものに継続して属することができ、共に活動できるのだと思います。



イラスト：喜友名 正貴

協賛広告

ユーザー車検代行
変更登録・廃車手続代行
三井住友海上火災保険代理店
オフィス・アスモ
二級ガソリン整備士
自動車電装整備士
代表 **浜口龍太**
〒193-0826
八王子市元八王子町3-2245-6
TEL・FAX 042-664-8430

味楽苑 ギャラリーアート 苮木

富士森高校
出展作家
募集中!
桑志高校
甲州街道 長房団地入口
coco's
11時～21時(15時～17時は休憩) 水曜定休
TEL・FAX 042-664-0528
〒193-0831八王子市並木町39-28

八王子のひと・モノ・こころをつなぐ情報紙

かてかて

Vol.10

2011.10

かてかてインフォメーション かてかて期間限定販売会

10月4日(火)～10日(月・祝)
そごう八王子店 8階大催場
午前10時～午後8時 (最終日午後5時閉場)
*同時開催<八王子のうまいもの大会>

クッキー、パウンドケーキ
パン、マフィン、プリン
手織マフラー、バッグ
フェルトグッズ、陶器
木のおもちゃ、手すき和紙
ビーズアクセサリー ほか

JR八王子駅かてかてショップ



毎月1～2回JR八王子駅コンコースに「かてかてショップ」を出店します
出店予定
10月12日(水) 11月9日(水)
午前11時～午後4時30分

発行日/2011年9月28日

八王子ワークセンターは
障害のある人たちの地域生活を
ワーク(働く)の視点から
支援しています

発行/特定非営利活動法人八王子ワークセンター
ワークポートかてかて
〒193-0835東京都八王子市千人町2-7-5
TEL 042-669-0340 FAX 042-669-0341
E-mail katekate@mbe.nifty.com
ホームページ <http://8workc.jp/>

イラスト・喜友名 正貴



【かてかて】

八王子周辺の方言で、まぜごはんを”かてめし”とも言います。
そこから「まぜまぜ」の意味でつくった造語です。
障害のある人もない人も、まぜまぜの社会をあらわしています。



道の駅八王子滝山

かてかてコーナーガイド



撮影：スタジオハナリー

道の駅八王子滝山 〒192-0011 東京都八王子市滝山町1-592-2
TEL 042 (691) 8083 営業時間 9:00~21:00
JR八王子駅よりバス ひよどりトンネル経由「戸吹行き」約10分



▲パンはハード系の天然酵母パンや食パン。ミニブレッドやちょっと甘いパンもあります



▲クッキーは全部で50種以上、パウンドケーキも各種あります



▲洗剤不要エコなアクリルタワシ



▲一点もの手織りのストール



▲安心・安全な木のおもちゃ



▲布ぞうりや竹炭製品



▲ビーズのストラップ、ネックレス



▲手提げ(左)手織り(右)草木染め



▲とんぼ玉ネックレス



▲マスコット、ヘアアクセサリ

店長にインタビュー

東京都で唯一の道の駅である「道の駅八王子滝山」。今年でオープン5年目です。当初から、かてかての製品を売り場においていただいておりますが、今年の6月より、かてかてコーナーがひとつにまとまり、より見やすく充実しました。道の駅でこれだけ大きなスペースを福祉団体の製品売り場として提供しているところは、あまり類をみません。八農菜店長の佐藤和弘さんにそのコンセプトを伺いました。

「まず我々企業の方針として、社会貢献ということがあります。それから、道の駅は地場野菜がメインではありますが、私たちの店として色をつけたかった。八王子らしさということで福祉施設の多い八王子ならではの取り組みです。地元の方はもちろん、観光に来ていただいた方々にも八王子のおみやげとして知っていただきたい。ストラップやアクセサリ、木のおもちゃなど、特徴のある、ここにしかないものがあります。」

「常連のお客様には、パンが好評で、何時ごろ届きますか?と待っているファンの方がいらっしゃいます。パンの製造企業もいろいろありますが、せっかくこのような(福祉施設でつくっている)おいしいパンがあるので、うちではこれに絞っています。」

「また、地元のりんご農家とコラボしてつくった“天狗サイダー”というのがありますが、ワークセンターさんとも何かできるといいですね。皆さんの持っている能力と道の駅の開発力を発揮して、例えば高尾山の木など利用しておみやげなどつくりたいです。」

最後に、佐藤店長にとって仕事のやりがいとは? 「東京唯一の道の駅で店長として仕事をさせていただきプレッシャーもありますが、誇りを感じています。」



道の駅八王子滝山・八農菜店長の佐藤さん。『独身です。婚活中の女性のみなさま、よろしく。』(シャイな店長さんの代弁です)

製造の現場 工房みどりの風

〒193-0932八王子市緑町935-15
TEL 042(628)3068
FAX 042(649)6080



はちバスサブレを
よろしくおねがいします



右の写真は、はちバスサブレのタネです。車体部分を切ってタイヤの部分をくりぬき、手前の丸いタイヤを切って、車体にくっつけ、グラニュー糖をまぶしてオープンへ。はちバスサブレは、1週間に300枚から400枚くらい焼いています。袋入れ、シール貼り、箱詰め、ひとつひとつの手順をていねいにだじにつくっています。地震の時もみんな「はちバスサブレが割れていないかな!」と心配しました。ちょっとした手みやげにぴったりなはちバスサブレは1枚100円、箱入りは6枚で600円です。他にも塩クッキーやマドレーヌ、オレンジケーキなどおいしいお菓子を焼いています。道の駅八王子滝山、市役所売店ほっち、東浅川保健福祉センターなどで販売されています。



今年度から毎月2回、法政大学のエッグドームへ、サブレ・クッキーの出張販売にでかけています。お菓子販売のときには、みどりで統一したおしゃれなユニフォーム(ベレー帽・チェックのタイ・エプロン)で臨みます。9月には片倉高校の文化祭でもワークセンター販売コーナーのお手伝いをしました。春と秋のお彼岸と7月のお盆には、市営霊園でお花とお線香の販売をします。また、ショッパーの配布もだいじな仕事のひとつです。みなさんのお宅一軒一軒のポストに、



こんなすてきな笑顔もいっしょに配っています。畑で穫れた野菜も少しずつ売れるようになってきました。サークル活動でパソコン、歌と手話、日本文化(お茶・お花・調理)のグループがあり、楽しみながら学んでいます。見学にいらしてください。お待ちしております。

撮影：スタジオハナリー

3.11被災地支援レポート

東北で出会った人達 ~私達にできること~

八王子地域デイグループわくわくスタッフ 田中 海香 (たなか みか)

東日本大震災が起きてから、半年が経ちましたが、宮城県の石巻市や女川町を初めて訪れた私は、津波で被災した街を見て、ショックのあまりことばを失いました。

私は夏休みを利用して、ボランティアグループに所属し、避難所や仮設住宅で生活をする人達にお会いし、お話を聞かせていただいたり、自分にもできることを、地域の方達と一緒にしてきました。

独居の高齢者の方の、避難所から仮設住宅へ引越をするお手伝いをしたときには、ご本人からたくさんのお話がありました。頭から津波をかぶって思いもよらぬ恐ろしい体験をし、物資が届けられるまでは、恐怖と寒さで辛かったこと。とても大変な経験になってしまったけれど、大事な命と心、生きていてしっかりした気持ちがあれば大丈夫とご自分の胸を大事そうに抑え、目頭を熱くしながら微笑まれました。そんなご本人は人と話すのが大好きとのことでしたが、この日から仮設住宅で一人暮らしです。引っ越したばかりの仮設住宅の中でのご近所付き合いは、これからです。ヘルパーの方が入らない日は、居家でずっと一人にならないように、定期的にボランティアチームが訪問することになりました。

また、仮設住宅で一人暮らしで歩行が不自由な方の、公共料金の支払いを代行したときには、ご本人が翌日から入院だったもあり、今日支払うことができ本当に運がよかったとおっしゃっていました。津波で自家用車が流され、公共バスだけでは間に合わず、今までの日常生活で出来ていた買い物や通院などが、とても大変になった方々がたくさんいらっしゃいます。

複数の病気をもち、外出が難しい方からは、自宅ですべて一人であるので、話し相手がない・隣の人と顔を合わせる機会も少ない・という声もありました。ご自分の辛い経験を涙を流してお話して下さった方や、津波を思い出して未だに夜眠れない日もある・とお話された方もいて、少しでも気持ちが晴れたりやすらぐような、人と話をする機会の必要性を感じました。

仮設福祉作業所では、スタッフの人数が足りず、人的支援の要望があったそうです。

避難所ではプライバシーの確保が難しいことが取り上げられていましたが、仮設住宅に移ると、独居の方も多くなるので、皆が孤独にならないような場・元気になる場をつくろうと、皆さんの切実な想いもあります。ですが、被災があまりに大きかったために地域資源が崩壊しているところもあるため、なかなか環境が整わないのが現状です。地域で支援に携わる人達もご自分の被災地での生活がある中、明るく皆を励まし大奮闘されています。

東北の人達には、初めて会った見ず知らずの私にも、とてもあたたかくよくしていただき、さまざまな方々との出会いを通して教えていただいたことがたくさんあり、本当にお世話になりました。

皆さん復興に向けて、悲しみを乗り越えようと頑張っていると思います。

私達が被災地の人達のためにできること・・・義援金・物資・メッセージ・ボランティア等、被災地の人達の胸中を想いながら、自分の出来る範囲でまずは一歩動いてみるのが大切だと思いました。

● 支援金のご協力をお願いします

「東北関東大震災障害者救援本部」を通じて被災された障害者の支援をします

<災害寄付金 郵便振替口座>
口座番号 00100-8-362980
口座名 特定非営利活動法人八王子ワークセンター

東北の障害者施設の商品の販売

八王子ワークセンターにて、はらから福祉会(宮城県)の、かりんとう、牛タンカレー、トマトカレーなど取扱っています! 購入希望、販売協力していただける方は、ご連絡ください。TEL 042 (669) 0340



イラスト・喜友名正貴